

# 暖房専用熱源機

## 取扱説明書

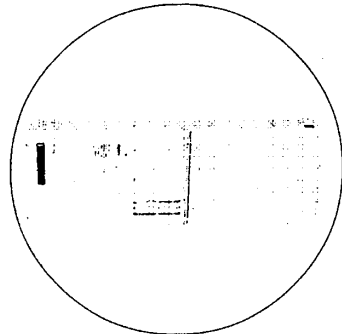
保証書付

品名 XS-4208ARSF  
型式名 GD-4200W  
B.L品番 XS-4208ARSF

このたびは暖房専用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。十分に理解したうえで正しくご使用ください。この取扱説明書の18ページが保証書になっています。内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。また、最寄りの東京ガスへご連絡ください。また、最寄りの東京ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

ガス温水暖房システムN00K等の取扱説明書も併せてお読みください。



TOKYO GAS

ご利用の前に		使い方		長くお使いいただくために	
ページ					
製品の特長	1	ご利用前の準備	7	冬の凍結予防をするには	8
安全に正しくお使いいただくために	1	機器の準備	7	凍結予防装置による方法	8
この取扱説明書の表示について	1	暖房運転をする	7	機器の水を抜く方法	8
絵表示について	1	床暖房の場合	7	再使用するとき	9
機器本体の表示について	1			凍結したときは	10
必ずお守りください	2			点検のポイント	10
各部の名称とはたらき	6			お手入れのしかた	10
				点検のポイント	10
				お手入れのしかた	11
				暖房水の精給について	11
				定期点検のおすすめ(有料)	12
				点検・お手入れ後の確認	12
				故障かな?と思ったら	12
				燃焼ランプの点滅について	12
				アフターサービスの点検について	14
				仕様一覧	15
				保証書	18

### 保証書

暖房専用熱源機

品名 XS-4208ARSF

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は、東京ガス供給区域内において、都市ガスにてご使用になる場合に、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

1. 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし、本体(リモコンを含む)を対象にします。なお、下記部品については、別途以下の年数を保証いたします。

ポンプ、ファンモーター.....3年  
熱交換器.....5年  
電装基板、リモコン(電装基板に起因する故障のみ).....5年

2. 万一故障の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの東京ガスへお申し出ください。原則として、出張修理いたします。

3. サービス員がお伺いしたときに、保証書をご提示ください。

4. 保証期間内においても、次の場合は有償修理といたします。

- (1) 住宅用途以外でご使用になる場合の不具合
- (2) 取扱説明書の記載事項によらないでご使用した場合の不具合
- (3) 機器を調整、改造された場合の不具合(但し、当社都合の場合はのぞきます)
- (4) お買い上げ後、取付場所の移動、落下等による不具合
- (5) 建装躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う腐食等により生じる外観上の現象
- (6) 強い腐食性の空気環境に起因する不具合
- (7) 犬、猫、ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
- (8) 火災や凍結、落雷、地震、噴火、洪水、津波等の天変地異または戦争、暴動等の破壊行為による不具合
- (9) 電気、給水の供給トラブル等に起因する不具合
- (10) 指定銘柄以外のガス、電気または熱媒等をご使用したことにより起因する不具合
- (11) 給水配管などの錆び等異物流入に起因する不具合
- (12) 温泉水、井戸水を給水したことにより起因する不具合
- (13) 本保証書を紛失された場合

5. 無料修理やアフターサービス等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへお問い合わせください。

保証履行者 : 東京ガス株式会社 千105-8527 東京都港区海岸1丁目5番20号

保証責任者 : 高木産業株式会社 千417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

■お買い上げ日および販売店

お買い上げ日	年	月	日
販売店	扱		
住所	者		
電話番号	印		

■修理記録  
この機器の修理記録は、機器本体のフロントカバー裏に添付している記録簿に記載します。

- お寄せまへ
1. この保証書をお受け取りになるときに、販売年月日、販売店、扱者印が記入してあることを確認してください。
  2. 本保証書は万が一紛失された場合は、大切に保管してください。
  3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
  4. この保証書によって保証書を実行している者(保証履行者・保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお寄せまの法律上の権利を制限するものではありません。

取扱説明書

XS-4208ARSF

110333407477

13 01

01

## 製品の特長

- 最大能力は、41.9kW (36,000kcal/h) で、多室暖房に最適です。
- 温水利用でお部屋の空気を汚さない快適暖房です。
- 機器の点火・消火は、床暖房コントロールで、室内より操作できます。
- 暖房水が少なくなると、自動で補給する自動補給機能が付きます。
- この暖房専用熱源機には、床暖房コントロール（別売品）、市販の週間プログラムタイマー（別売品）を取付けられます。

## 安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について  
この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき、万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

**▲危険** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡にまはる重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

**▲警告** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡にまはる重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

**▲注意** この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

**お願** ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX) 参照ページを示しています。

"×××" 音声案内を示しています。

## ■絵表示について

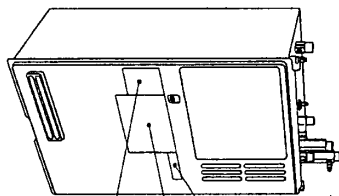
-  一般的な禁止
-  火気禁止
-  接触禁止
-  分解禁止
-  必ず行う
-  電源プラグを抜く
-  フースを接続せよ

## ■機器本体の表示について

**銘板**  
品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。

**使用上の注意**  
使用上の注意について表示しています。

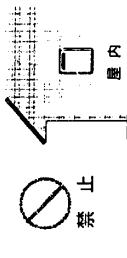
不凍液注入識別ラベル(不凍液を使用している場合)



## 必ずお守りください

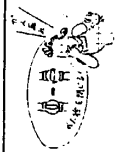
### ▲危険

屋内に設置しない  
●燃焼ガスが室内に充満したり、正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。



**禁止**

ガス漏れに気づいたときは  
①すぐに使用をやめてガス栓を閉じる。  
また、メーターのガス栓も閉じる。  
②お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスに連絡する。



すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
  - ・電気器具のスイッチの入、切をしない
  - ・電源プラグの抜き差しをしない
  - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、火災のおそれがあります。



火気禁止

### ▲警告

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備がある場合の原因になります。

増改築などで屋内状態にしない

- 設置後、機器や排気口を油絞やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



**禁止**

給排気口の前方に物を置いたり洗濯物でおおわない  
●不完全燃焼や火災のおそれがあります。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事は専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しの際には、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください。

機器本体やガスの接続部などに乗らない  
●けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

**分解禁止**

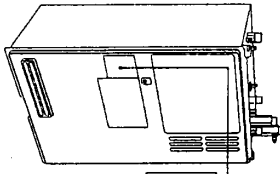
- おまわり自身では絶対に分解したり修理を行わない。事故や故障の原因となります。



分解禁止

## 利用の前に

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。



**！** ガス種・電源を確認

この部分をお守りください  
●ガス種 (LPガス・都市ガス) を確認してください。  
 ●電源 (電圧・周波数) を確認してください。  
 ●機器の銘板に表示してあるガス種 (ガスグループ) および電源 (電圧・周波数) で機器を使用する。  
 ●ガスおよび電源が一致しないなど不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火ややけどをしたり、機器が故障する場合があります。  
 ●転居時の注意は(→P. 14)

**改造禁止**  
●絶対に改造を行わない。改造は事故や故障・火災の原因となります。

**機器の銘板を確認**

- 機器の銘板に表示してあるガス種 (ガスグループ) および電源 (電圧・周波数) で機器を使用する。
- ガスおよび電源が一致しないなど不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火ややけどをしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は(→P. 14)

機器本体の高温部に触れない  
●使用中または使用後は、排気口付近に手を触れない。やけどのおそれがあります。



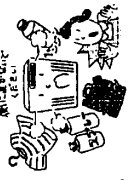
接触禁止



# 必ずお守りください

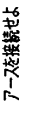
## 警告

- 火災予防のために必ず守ること**
- 機器周辺のものとは、常に図の離隔距離を確保する。
  - 機器および排気口の周囲には、紙や木材、洗濯物などが燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
  - 機器の周囲では灯油・ガソリン・ベンジンなど引火性危険物を使用しない。火災の原因となります。
  - 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置いたり使用したりしない。熱で缶、ボンベの圧力が上がり爆発のおそれがあります。



## 注意

- 電気事故防止**
- 電源コードを切断して延長はしない。感電や火災の原因となります。
  - 電源プラグは根元まで完全に差し込む。差し込みが不完全な場合、感電・発熱による火災の原因となります。構ったプラグ、鬆んだコンセントは使わないでください。
  - 濡れた手で電源プラグを触らない。感電のおそれがあります。
  - 電源プラグのほこりなどは、定期的に取る。電源プラグにほこりがたまり、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。
  - コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると破損して感電や火災の原因となります。
  - コンセントや配線器具の定格を超える使用方や、たこ足配線などで定格を超える発熱による火災の原因となります。
  - この機器は接地工事（アース）が必要。アースがされていないか確認する。



## 異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時は速やかに使用を中止し、ガス栓を閉じる。
  - 使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合
    - ① ただちに使用をやめて、ガス栓を閉じる。床暖房コンローラの運転スイッチも切にしてください。
    - ② 「故障かな?」と思ったら(→P. 12~13)に従って処置をする。
- 上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへ連絡する。



# 必ずお守りください

## お願い

**市販の補助用具について**

- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。

## 別売の床暖房コンローラの扱いについて

- 床暖房コンローラには水をかけたり、炊飯器・電気ポットなどの蒸気を当ててくれないでください。故障の原因となります。
- 床暖房コンローラはお子様がいらずしないよう注意してください。

## 電源プラグを抜かない

- お手入れの際、長期間使用しない場合および凍結防止のため水抜きを行うときは、電源プラグを抜かないでください。

## 停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 再通電したときは、別売の床暖房コンローラを取り付けているお宅では、床暖房コンローラの再設定を行い、表示を確認したあとご使用ください。

## この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使い方をされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

## お願い

### 設置場所や状況について

- 扉などを増設する場合は、機器の点検・修理のため空間を確保し空気の流れが停滞しないように考慮する。機器の点検・修理のため燃焼不良の発生を防止するためです。(機器の点検修理のための空間については、販売店もしくは東京ガスにお問い合わせください)

### 使用する暖房水についての注意

- この機器は上水道用です。暖房水に地下水や温泉水、井戸水を使用しないでください。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着したり、配管に穴が開くなど耐久性を損なう場合や機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

## 凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬の凍結を予防するには」(→P. 8)に従って処置をしてください。おたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結したときは解凍するまで待って「機器の準備」(→P. 7)の操作を行ってください。

## 日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れを定期的に行ってください。(→P. 10)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときはお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

## 長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P. 8)に従って、水抜きを行ってください。



## 給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

## 排気ガス

- 増改築時には排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス、網戸、アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色、破損、腐食の原因となります。

## 積雪による排気口の閉塞について

- 積雪や屋根から落ちた雪により、給気口・排気口が塞がれないように注意してください。不完全燃焼や故障の原因となります。

## 利用の前に

# 必ずお守りください

## 警告 床暖房についての注意

- やけどに注意**
- 高い温度で設定したまま長時間、座ったり寝たりしていると、低温やけどを起こすおそれがあります。
  - 特に次のような方が使用する場合は、周りの人が注意してあげることが必要です。
  - 乳幼児や自分の意志で体を動かかせない方
  - 疲労の激しいとき ・ 皮膚や皮膚感覚の弱い方
  - お酒や睡眠薬を飲まれた方



## 注意

- 床についての注意**
- 床に水などがこぼれたらすみやかに拭きとる
- 床面に水・薬品・しよ油などをこぼしたままにしておくと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、速やかに拭きとってください。



- 床へは重畳を加えない
- 木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形・変色することがあります。

- 家具などを直接床に置かない
- 床暖房の上には、脚座品・家具などを置かずとも家具等に熱がこもりやすいためおそれがあります。

- 重いものはそのまま置かない
- ビアなど重畳物にはマットなどを敷いて一面所に重量がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。



- ホットカーペットとの併用はしない
- 床仕上材が変形・変色するおそれがあります。

- 火災予防**
- 床暖房の上にスプレー缶・ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。



- 床についての注意**
- 床暖房を設置している床面に、器具物（釘・画びょう・きり・タコ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因になります。



### 用途についての注意

- 床暖房を他の目的に使用しない。
- 特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）には使わないでください。



### カーペットの張替えについて

- 張替えする場合には床暖房専用のもを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープからクリップバーにて固定するようにしてください。釘あるいはびょうで固定するのは避けてください。また、交換を考へて、全面接着することは避けてください。



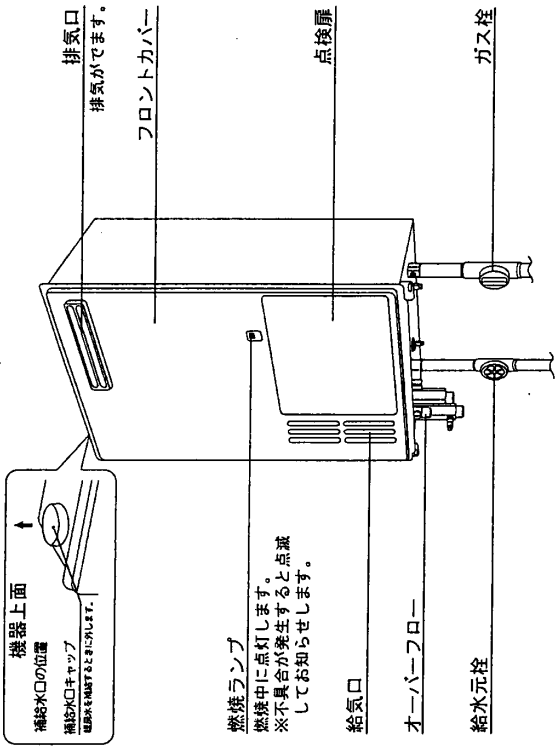
### 床下防腐処理について

- 床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。

# 各部の名称と大きさ

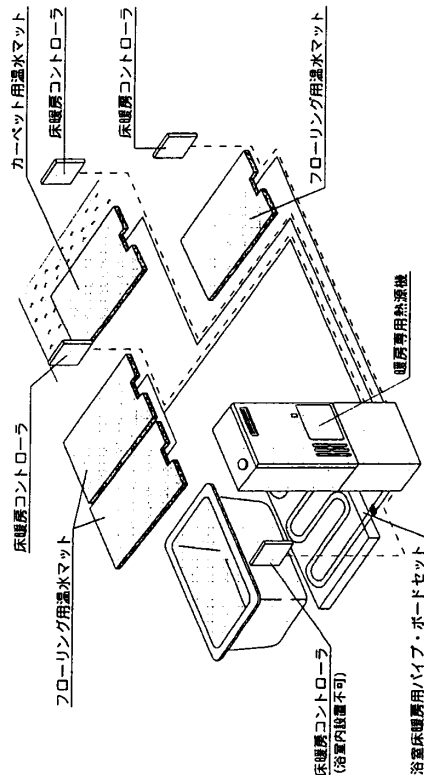
この機器の各部の名称とはたらきを  
ご紹介します。

## 機器本体



## 暖房システム図

温水マットと浴室床暖房用パイプ・ポードセットの設置例



取扱説明書	XS-4208ARSF	110333407477	13	04	01
-------	-------------	--------------	----	----	----

## 利用の前の

## 冬期の凍結を予防するには

- △注意**
- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
  - 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

### ■凍結予防装置による方法

機器の電源プラグは、抜かないでください

暖房回路の凍結予防のためにガス栓は開けておいてください

機器には気温が下がってくると自動的に暖房低温運転（燃焼）し、暖房回路を温めて凍結を予防する凍結予防装置がついています。

機器の電源プラグを抜いたり分電盤のブレーカーを切らないでください。

不凍液を使用している場合もあります。（機器フロントカバーに貼付の不凍液注入ラベルを確認してください）

- △お願い**
- 電源プラグがコンセントから抜かれていないと、作動しませんのでご注意ください。
  - この方法では、機器内の凍結は予防できませんが給水配管は凍結することがありますので、必ず保温材料を巻くなどの措置をしてください。



## 使い方

## 長くお使いいただくために

寒波などで特に寒くなりそうときや長期不仕をするときは、機器の水を抜く方法（→P.8）で凍結予防をしてください。

### ■機器の水を抜く方法

長期使用しないときは、水抜きをしてください

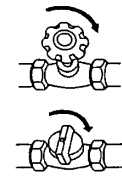
入居前や長期不仕で分電盤のブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのまましておいてください。

- △注意**
- 使用後すぐに水抜きをしない、やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

**確認** フロントカバーの不凍液注入識別ラベル（→P.1）で、不凍液注入の有無を確認します

**説明** 必ず行います。

### 1 ガス栓・給水元栓を閉じます



次ページへ

8

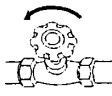
## ご利用前の準備

### ■機器の準備

**1** 機器や機器周辺の点検・確認を行います（→P.10）

**2** 給水元栓を全開にします

機器の下部にあります。



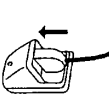
**3** ガス栓を全開にします

機器の下部にあります。



**4** 電源プラグをコンセントに差し込みます

機器周辺にあります。



## 暖房運転をする

■床暖房の場合 詳しくは床暖房ユカコントロールの取扱説明書をご覧ください。

**運転** 床暖房コントロールの運転を「入」にします  
機器本体の燃焼ランプが点灯します。



燃焼ランプ点灯

**停止** 床暖房コントロールの運転を「切」にし  
機器本体の燃焼ランプが消灯します。




燃焼ランプ消灯

**△お願い** ● 給水タンク内の暖房水が一定量以下になると暖房運転が停止します。このとき機器本体の燃焼ランプが点滅表示します。（→P.11）  
給水元栓が全開になっていることを確認してください。

● 使い始めや温度調節の変更を行ったときは、設定温度になるまでに時間がかかります。

## 冬の凍結を予防するには

操 作	説 明
<p><b>3</b> 電源プラグをコンセントに差し込みます</p> 	<p>コンセントは機器の周辺にあります。</p>

- △注意** ● 据置台（または配管カバー）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。（→P.12）
- お願い** ● 水抜き栓は元通りに確実に閉めてください。閉じかたが不十分であったり、閉じ忘れたりするとそこから水漏れします。

### ■凍結したときは

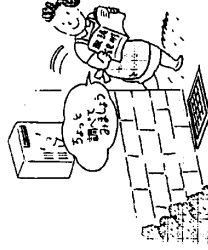
- 凍結したときはガス栓を閉じ、使用しないでください。凍結したままで使用すると、機器や配管が破損することがあります。
- 解凍するまで待つて、水漏れのないことを確認のうえ、ご使用ください。

## 点検のポイント・お手入れのしかた

安全に長くお使いいただくために点検とお手入れは定期的に行いましょう。

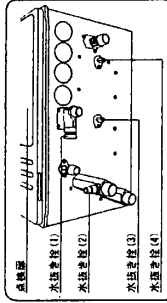
### ■点検のポイント

- 次の6つのポイントで点検してください。
- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？**  
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
  - 2 機器および配管からガスの臭気はありませんか？**
  - 3 運転中に機器から異常音がしませんか？**
  - 4 機器の外観に異常は見られませんか？**
  - 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありませんか？ また、整然とされていますか？**  
機器のまわりに雑草や木くず、屑などで雑然としていると、機器の内部に害虫（コキブリなど）が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
  - 6 積雪や屋根から落ちた雪により、給気口・排気口が塞がれていませんか？**  
給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。積雪時には給気口・排気口の点検・除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口を閉塞するおそれがあるときには、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

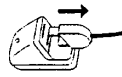


長くお使いいただくために

## 冬の凍結を予防するには

操 作	説 明
<p><b>2</b> 【不凍液が入っている場合】 （1）の水抜き栓のみを外します 【不凍液が入っていない場合】 水抜き栓（1）（2）（3）（4）を外します 完全に排水したことを確認し、すべての水抜き栓を元通りに取り付けます</p>	

### 3 電源プラグを抜きます



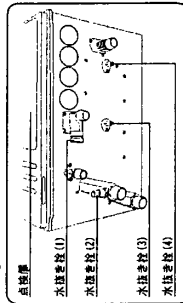
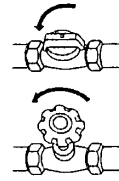
機器の周辺にあります。  
排水後は次にお使いになるまで、そのままにしておいてください。

- △注意** ● 使用後すぐに水抜きをしない、やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

- 据置台（または配管カバー）のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーをしっかりと閉める。（→P.12）

- 水抜き操作をすると、機器本体だけでなく配管や端末機器内の水も出できます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

### ■再使用するとき

操 作	説 明
<p><b>1</b> すべての水抜き栓（1）～（4）が閉じていることを確認します</p>	
<p><b>2</b> 給水元栓を開け、水漏れがないことを確認してから、ガス栓を開けます</p>	 <p>機器の下部にあります。</p>

## 点検のポイント・お手入れのしかた

### 1 ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。

### 2 お手入れのしかた

- 機器本体および床暖房コントロールラックのお手入れ
  - 汚れは、水に濡らしたやわらかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。
  - 洗剤およびシンナー、ベンジンなどは使わないでください。変色、変形する場合があります。



- ▲ 警告 ● フロントカバーを外したり、別売の床暖房コントロールラックを分解しない。
- 分解禁止

- ご注意ください
  - 床暖房コントロールラックには水をかけないようにしてください。床暖房コントロールラックの内部には電気部品が入っているので故障の原因となります。

- お願い ● 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。

### 3 暖房水の補給について

暖房水の補給が必要になると、燃焼ランプが点滅し、運転を停止します。このような場合は、以下の手順で水を補給します。

- 給水管がある場合

暖房水は自動的に補給されます。給水元栓を開いたまゝおいておいてください。

- 給水管がない場合

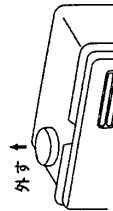
暖房水は自動的に補給されません。補給水口から水を補給します。

操作	説明
1	フロントカバーの不凍液注入識別ラベル(→P. 1)で、不凍液注入の有無を確認します
2	【不凍液が入っている場合】 お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください 【不凍液が入っていない場合】 3.4.5 の操作を行います
3	補給水口キャップを外します

- 必ず行います。

※ 暖房水補給の作業費(不凍液代を含む)は、有料となります。

### 3 補給水口キャップを外します

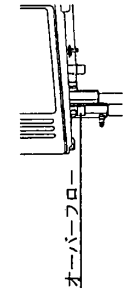


運転直後等、暖房水が高温になっているときは、温風が吹出してやけどをするおそれがあります。冷えてから外してください。

## 点検のポイント・お手入れのしかた

操作	説明
4	補給水口から水を入れます
5	補給水口キャップをはめます

### 4 補給水口から水を入れます



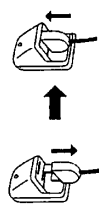
補給水口からやかん等で、必ず水道水を補給します。(地下水等を使用しないでください)オーバーフローから水が出てくるまで入れます。

### 5 補給水口キャップをはめます



補給水口キャップをしっかりはめます。

### 電源プラグの抜き差しをします。



電源プラグは、機器周辺にあります。

### ■ 定期点検のおすすめ(有料)

機器を安心してより長く使用いただくために、1年に1回程度の点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご相談ください。

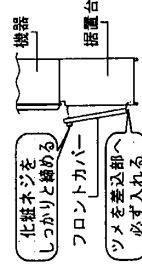
### ■ 点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後は、機器が正常に動作するか確認してください。万一、異常な燃焼、臭気、音を感じたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

### ● 据置台(または配管カバー)のフロントカバーについて

据置台(または配管カバー)のフロントカバーを外した場合、作業終了後には必ず、外したカバーを元の通り取り付けてください。

- ① カバー下部のツメを差込部へしっかり差し込み、外れないことを確認。
- ② 化粧ネジをしっかりと締める。



## 故障かな?と思ったら

### ■ 燃焼ランプの点滅について

- この機器は故障すると機器本体の燃焼ランプが点滅し、自動的に運転を停止します。
- 機器本体の燃焼ランプが点滅しているときは、お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。

# 故障かな?と思ったら

故障かな?と思うても、よく調べてみると故障ではない場合もあります。まずは次の点を確認してください。

## こんなとき

- 寒い日に排気口から白い湯気がでる
- 冬期など寒いときポンプが自動的に回る
- 冬期など、暖房を使っていないのに機器が燃焼する
- 暖房ポンプがときどき自動的に回る

## 故障ではありません

- 外気温が低いときには、排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。
- 凍結予防のため、ポンプが自動的に回っています。
- 暖房回路の凍結予防のため、外気温が一定温度以下になると機器が自動的に燃焼します。異常ではありません。
- エア一抜きをするためと、ポンプの回数を防ぎするための機能ですので、異常ではありません。

## 床暖房の場合

- 床暖房の温度がなかなか暖まらない
- 床暖房を使用していないのに床が暖まることがある
- 床暖房の暖かさが場所によって少い
- 床暖房の足元が場所によって少い
- 床暖房を使用中に音がする
- クッションフロアが部分的に変色している

- 床暖房の暖まり具合は、仕上げ材の種類、床下断熱材や外気温などによって変わります。機器が得られるようになるには木質のフローリング・カーペットなどの場合は約30分〜1時間、タイル・天然石などの場合は、約1時間〜2時間の予熱時間が必要です。
- 別売の床暖房コントロールローラを取付けている場合は、あらかじめタイマー運転を設定してご使用ください。(設定方法は取扱説明書をご覧ください)
- 床暖房は田舎内にたまった空気を抜くために、約1ヶ月ごとにポンプが自動的に回ります。
- 床暖房はパイプ内には温水を循環させて床を暖めており、温水の流れている所とそうでない所では床面の温度に若干の差が発生しますが異常ではありません。
- カーペットや防湿ローリングなど、柔らかい仕上げ材では床暖房の固定部分や温水供給部などのため、床面の足元が暖かたが少いことがあります。
- 床暖房を使用しますと、ごくまれに床面に音がする場合があります。これは、床暖房の熱によって床暖房部材および仕上げ材など床の構造体が膨張・収縮し、その際に発生するものであり異常ではありません。
- 床仕上げ材がクッションフロアシートの場合、異期にご使用になりますと床表面に白っぽいものが付着して、変色したように見えますが、異常ではありません。薄めた中性洗剤を含ませた布で拭くと汚れは自立したなくなります。

## こんなとき

- 暖房がつかない(ききが悪い)
- 機器の燃焼ランプが点灯しない(運転しない)
- 燃焼ランプが点滅(運転しない)
- 運転中に機器から異常音がきこえる

## ここを調べてください

- ガス栓が全閉になっていませんか (→P.7)
- 床暖房コントロールローラの設定温度は適切ですか (床暖房コントロールの取扱説明書をご覧ください) (→P.9)
- 電源プラグがコンセントにしっかりと差し込まれていますか (→P.7)
- 停電していませんか (→P.4)
- ガス栓が全閉になっていませんか (→P.7)
- ガス栓が全閉であることと燃焼後、床暖房コントロールの運転スイッチを一旦「切」にし、再度「入」にしてください。
- 燃焼水が少なくなっていますか (給水配管をしていない場合) 水を補給してください。 (→P.11)
- 点検を依頼してください。

それでもおかしなときはアフターサービスをお申し付けください。

# アフターサービスについて

## サービスを依頼されるときは

- 「故障かな?と思ったら」(→P.12~13)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいは不明な場合には、お客様ご自身で修理なさらないでお買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
  - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
  - (2) 品名:XS-4208ARSF (ガスの種類:例えば3A)
  - (3) お買い上げ日(保証書をご覧ください)
  - (4) 現象(故障または異常内容などできるだけ詳しく)
  - (5) 訪問ご希望日

## 保証について

- この取扱説明書の18ページが保証書になっています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

## 補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打ち切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

## 受付対応

### 東京ガスグループは万全なメンテナンスサービスを为您提供します

- ◆月～土曜日の修理は9:00～19:00まで電話受付
  - 月～土曜日は朝の9時から夜の7時まで、機器の修理・オーバーホールのお申し込みを承ります。
- ◆日曜・祝日の修理は9:00～17:00まで電話受付
  - 日曜・祝日は朝の9時から夕方6時まで、機器の修理・オーバーホールのお申し込みを承ります。

## 出張対応

- ◆月～土曜日の17:00までの受付は、当日中にご訪問
- ◆月～土曜日の17:00以後の受付は、翌日にご訪問翌々日以降の希望日にご訪問することも可能です。なお、緊急時の場合は、ご相談ください。
- ◆日曜・祝日の15:00までの受付は、当日中にご訪問
- ◆日曜・祝日の15:00以後の受付は、翌日にご訪問

万一、ガス機器に故障が生じた場合等、修理に関するご何でも、別紙「お問い合わせ先一覧表」をご覧ください。になり、ご用命ください。

長くお使いいただくために

## アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの東京ガスへお問い合わせください。



〔仕様表〕

項目	内容
品名	XS-4208ARSF
型式	GD-4200W
外形寸法(mm)	幅480×奥行285×高さ750
質量(kg)	38(据置台含む)
暖房方式	温水循環方式
給排気方式	屋外強制給気方式
設置方式	屋外据置設置形
点火方式	AC100V連続放電式(タイレレクト着火)
使用水压	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm <sup>2</sup> )
ポンプ機外程	80℃
揚程	60℃
温度制御方式	50kPa(27ℓ/分時) 比例制御およびON/OFF制御方式
ファン制御方式	回数制御
供給水	20A(R3/4)オネジ
暖房往戻	15A(R1/2)オネジ
給排気	20A(G3/4)オネジ
オーバードレ	20A(G3/4)オネジ
電源	15A(R1/2)オネジ
電気関係	AC100V(50/60Hz) 3W(床暖房コントローラ1台取付時)
消費電力	250W
待機消費電力	274W
凍結予防動作	
安全装置	ファン回転検出装置(燃焼ファン) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 立消え安全装置(フレイムロッド) 漏電安全装置(漏電リレー) 過圧防止安全装置(スプリング式) 誘導管保護装置(サージアブソーバ) 空だき安全装置(バイメタル式) 暖房燃焼低温運転(凍結予防装置)
付属品	配線一式、取扱説明書、設置工事説明書

〔能力表〕

使用ガス	1時間あたりのガス消費量	暖房能力	ガス接続
使用ガスグループ	KW	KW	
都市ガス	50.0	41.9	20A
	46.6	39.0	(R3/4)

◎ガス:JISに規定する標準ガス・標準圧力のとす。  
◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために

取扱説明書	XS-4208ARSF	110333407477	13 09	01
-------	-------------	--------------	-------	----



取扱説明書	XS-4208ARSF	110333407477	13	10	01
-------	-------------	--------------	----	----	----

TOKYO GAS

販売店名

31M063